

元んしんぼんり

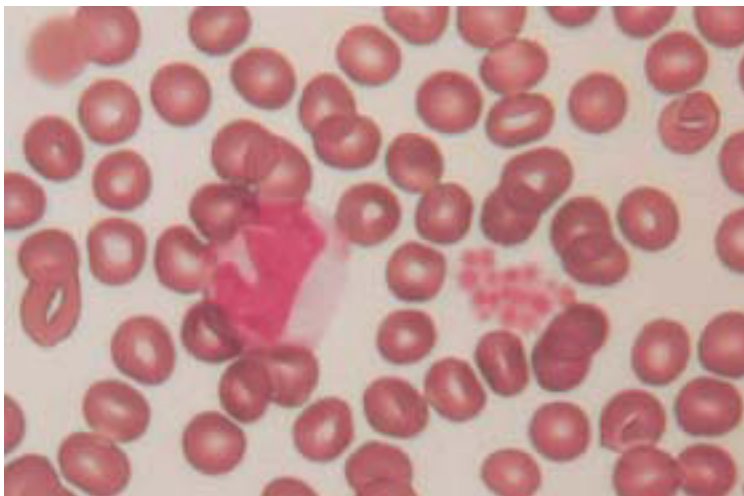


目次	血小板凝集について.....	1	お知らせ.....	4
	検査情報.....	2	声(会員の先生方から).....	4
	検査Q&A.....	2	メモ.....	4
	センターご紹介.....	3	編集後記.....	4
	ひろば.....	3		

私たちが臨床検査技師が日頃みている顕微鏡の世界

血小板凝集 (EDTA依存性血小板減少) について

末梢血一般検査に使用している採血管(検査の手びき参照)には血液の凝固を阻止するためEDTA塩(Ethylene-diamine-tetraacetic acid)が入っています。凝固を阻止する薬剤としては他に3.13%クエン酸ナトリウムやヘパリンなどがありますが、末梢血一般と血液像の検査にはEDTA塩が最適とされています。しかし一部の患者において血小板の凝集を来すことがあり、このような検体では正確な血小板数が測定できないことや白血球数が高めに測定されたりすることがあります。血小板がなぜ凝集するのか?はっきりとした原因は不明ですが、現在では血小板膜上のCa²⁺イオンがEDTA塩による強力なキレート作用により修飾を受け、膜表面性状が変化するため血中の凝集素と反応する説が有力です。このような患者で臨床上(特発性血小板減少症の鑑別など)正確な血小板数を測定したい場合は、3.13%クエン酸ナトリウムやヘパリンを用いて採血したもので測定しますが、このようにしても凝集塊がみられ正確な測定ができないことが多々あります。一番の解決策は採血後直ちに測定することですが、検査センター



写真中央 左:単球 右:血小板凝集像

ではこのような対応ができませんので、成人病センターなど検査可能な病院にご相談頂くこととなります。

なお、血小板数が10万未満の方及び白血球分類中に血小板の凝集がみられた場合に「凝集塊のため血小板が低値と思われる」というコメントを報告書につけております。

検査情報



針刺し事故が起こったら

針刺し事故では肝炎ウイルス、HIVの感染が心配ですが、事故を起こした場合、まず血液を絞り出しながら多量の流水で洗浄することが重要です。水道さえあればできることなので、必ず励行してください。

以下に針刺し事故が起こったときの対応をまとめてみました。

【針刺し等血液事故発生時の対応】

応急処置 速やかに以下の処置を行う。

- ・針、メス刃などによる、刺し傷や切り傷の場合は、流水下で受傷部をしぼりだすように十分洗浄し、後消毒用エタノールやハイターの希釈液で消毒する。(但しHBVは消毒用エタノールでは死滅しません)
- ・眼に血液が飛んだときは多量の水による洗浄とともにイソジン点眼10%希釈液で消毒する。
- ・口腔粘膜などにはイソジンガーグルを使用する。
- ・無傷の場合でも手指などが血液・体液などに触れた場合は流水で十分に洗い、消毒用エタノールで消毒する。

検査と処置

- ①患者のHBs抗原、HCV抗体、HIV抗体検査の結果を把握する。
- ②受傷者のHBs抗原、HBs抗体、HCV抗体、肝機能検査、HIV抗体検査を行う。

*患者血がHBs抗原(+) (もしくは不明)での事故

	HBs抗原	HBs抗体	処置	フォロー検査
受傷者	(-)	(-)	4 8 hr以内に抗HBs免疫グロブリンを投与。 ワクチンを直後、1、3ヶ月後接種	6ヶ月まで毎月HBs抗原、抗体検査を行う。
	(-)	(+)	抗HBs免疫グロブリン、ワクチンは不要。	*HBs抗原(+)の受傷者は既に感染状態なので別途フォローして下さい
	(+)	(-)or(+)		
	不明のとき (早くHBs抗原・抗体検査をする)		HBs抗原(-)のときは4 8 hr以内に抗HBs免疫グロブリンを投与。ワクチン接種。	6ヶ月まで毎月HBs抗原、抗体検査を行う。

*患者血がHCV抗体(+)での事故

受傷者	HCV抗体(-) [HCV・RNA(-)] 肝機能正常	免疫グロブリン、ワクチンなど現在有効な処置はありません	1～6ヶ月、毎月HCV抗体検査と肝機能検査を行う。 (-)のとき念のため1年後検査
-----	-----------------------------------	-----------------------------	--

*患者血がHIV抗体(+)での事故

受傷者	HIV抗体(-)	医師と相談、予防薬の投与	1, 3, 6ヶ月後HIV抗体検査
-----	----------	--------------	-------------------

検査Q & A

Q：C型肝炎の遺伝子検査でDNAプローブ法とPCR法(定量、定性)はどのように使い分けるのでしょうか？

A：一般にウイルス量が多く治療の効果、経過を見るときはDNAプローブ法を実施します。測定レンジが広く定量性に優れているからです。しかし検出感度に限界があり低濃度ウイルス量は測定できません。PCR(定量)はDNAプローブ法より感度がより優れているのでウイルス量が少ないときのモニタリング(特にINF治療後)に使います。さらに感度のよいPCR(定性)はウイルス駆除の確認になります。



病理・細菌検査係長 尾形 幸子

センターご紹介



業務課 Part 1

〈営業部門〉

業務1係(中央、城南、南、早良、西、糸島地区) 営業員18名

業務2係(東、博多、中央、南、宗像、粕屋、筑紫地区) 営業員21名

業務1係・2係39名の営業職員で各地区午前・午後の訪問をはじめ、追加の検体収集、至急への対応には万全を期しております。先生や職員の方からの「お疲れさん」の声がいつも励みになっております。



本部事務局
イシバシヒサオ
業務1係長 石橋久男



本部事務局
ハヤシダユウキ
業務2係長 林田有基

〈受付部門〉

業務3係 受付 4名 至急検体デリバリー 19名

先生方からのお電話をお受けしている4名のスタッフです。毎日300件ほどの電話に対応、検査のご依頼、至急、追加の検体収集の連絡で目の回るような一日です。お問い合わせご依頼など、お気軽にお電話下さい。



ナカヤマ マサコ ヒライ ケイコ イシダ アケミ オオタ ルリコ
中山 政子 平井 啓子(受付・検診主任) 石田 朱美 太田 ルリ子

ひろば

中国 part2



- *以下の _____ に記入して下さい。(请填写下列表格)
- 氏名(姓名): _____ 国籍(国籍): _____
- 性別(性别): 男性(男性)・女性(女性) 年齢(年龄): _____ 生年月日(出生年月日): _____
- 現住所(现住所): _____ 電話番号(电话号码): _____
- 勤務先(工作单位): _____ 電話番号(电话号码): _____
- *緊急時はどなたと連絡をすれば良いですか?(发生紧急情况时,与谁取得联系好?)
- その人の氏名(联系人的姓名): _____ 住所(地址): _____
- 間柄(与你的关系): _____
- *保険証をお持ちですか。(今天健康保险带来了吗?)
- *今回は日本語のわかる方と一緒に来て下さい。(下次请和懂日语的人一起来)
- *これがあなたの診察券です。(这是你的就诊卡)
- *次に来診の際には、これをお持ち下さい。(下次再来看病时,请把这张卡带来)
- *あなたの治療費は _____ 円です。(你的治疗费是 _____ 日元。)

お知らせ



第23回医師会臨床検査センター学術講演会（日医生涯教育講座5単位）

臨床検査センター学術講演会を次の通り開催します。

今回は、高齢者の検査データをテーマとした講演です。

営業担当からもご案内申し上げますので、先生、従業員の方々の多数ご出席をお待ちしております。

日 時：平成14年3月12日（火）19時

場 所：市医師会館講堂（8階）

講 演：『高齢者の検査データの見方、考え方』

佐賀医科大学検査医学講座教授 只野 壽太郎先生

座 長：臨床検査センター運営委員会 副委員長 山崎 節先生

声（会員の先生方から）



私は、福岡市医師会臨床検査センターを開業当初より利用しております。その間、民間検査センターも幾度となく営業に来ましたが、他社に変えることなく医師会を全面利用しています。なぜならば、医師会会員である私達がつくった機関で精度管理も厳しく行い、また職員の会員に対するサービスも行き届いて安心して利用出来るからです。

今年は、保険点数改正の年でもあり医療機関・検査センターにとっても更に厳しい年になることは間違いないと思われまます。我々、東区医師会においても会員の先生方一人一人にご利用の声を掛けております。医師会臨床検査センターの営業の方も、根気よく未利用の医療機関に営業活動を続けていき、一医療機関、一本の出検でも利用していただけるよう努力される事を期待しています。今後とも、医師会臨床検査センターの利用率アップと益々の発展を祈念いたします。

東区医師会 会長 二宮 紀郎

メモ

施設内勉強会 臨床検査技師・営業担当者向（参加要予約）

「HCV検診について」 3月19日（火） 14:00 於）カンファレンス室

「結核菌について」 3月26日・27日（火）（水） 16:00 於）カンファレンス室

「梅毒検査について」 4月24日・25日（水）（木） 16:00 於）7階和室

会 議 臨床検査センター運営会議 3月28日（木） 18:00 於）第1会議室

編集後記 ついこの間、年が明けたような気がしますが、早くも3月。つくしが顔を出し、小鳥のさえずりとともに 桜花爛漫の季節もそこまで来ているようです。

表紙のツクシについて…早春の摘み草として日本では古くから親しまれていました。「蕨つくづくしをかき籠に入れて」といった一節は源氏物語早蕨の章に出てきます。

このツクツクシが詰まってツクシになったようです。早春に日々すんすんと伸びるツクシは、それだけで『向上心』を感じさせてくれます。胞子が飛び散る前のツクシは柔らかいので、おひたしや和え物、佃煮にもすることができます。又、薬用食物としても有名で、止血剤、利尿剤として使われています。

原産地：北半球の温暖域 花言葉：向上心、意外、驚き 最盛期：3月 花色：帯白色（胞子）

編集委員 喜久正和 大塚英樹 椎葉 満 時藤清臣 尾形幸子 柿本正人



〒814-0001 福岡市早良区百道浜1丁目6-9

福岡市医師会臨床検査センター TEL(092-852-1506) FAX(092-852-1510)

http://www.ijjnet.or.jp/fma/kensa/kensa.html E-mail:fma@po.ijjnet.or.jp